ふじのくに

砂防だより

NO. 153
2006.4.15

白糸の山桜（富士宮市）

新年度のご挨拶 …… 2
土砂災害防止月間 …… 3
砂防関係予算 …… 4
あなたのまちの安全度 …… 6
気象庁と連携した土砂災害情報 …… 8
平成17年度 土砂災害に関する絵画・ポスター・作文
表彰式・優秀作品の紹介 …… 10
インフォメーション …… 12
平成の大合併 …… 14
石碑を訪ねて …… 15
新人紹介 砂防関係の主な行事 …… 16

速報 **平成18年度 当初予算**

みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6月1日～30日

がけ崩れ防災週間 6月1日 ～7日

全国治水砂防協会静岡県支部

▶▶平成18年度の行事予定◀◀

月　日	時刻	活　　動	会場等
4月　20日㈭		全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡市内
5月　17日㈬	**11：00**	**㈳全治水砂防協会平成18年度通常総会**	**砂防会館（東京都）**
22日㈪	**13：30**	**全国治水砂防協会静岡県支部役員会**	**静岡市内**
22日㈪	**15：00**	**全国治水砂防協会静岡県支部平成18年度通常総会**	**静岡市内**
6月　1～30日		土砂災害防止月間	静岡県内各地
1～7日		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
4日㈰	10：30	砂防フェスティバルしずおか	静岡市内（青葉シンボルロード）
8日㈭		土砂災害に対する全国統一防災訓練	伊豆市ほか
8月　中旬		国土交通省、静岡県選出国会議員への砂防促進要望	東京都
下旬		**市町長等砂防事業県外視察**	**未定**
10月　中旬		市町等砂防担当職員研修	未定
11月　中旬		東海4県協会支部長・砂防課長合同会議	岐阜県（予定）
28日㈫	**11：00**	**全国治水砂防促進大会**	**砂防会館（東京都）**
	13：00	**静岡県選出国会議員への砂防促進要望**	**議員会館（東京都）**
1月　18～19日		地すべりフォーラム2007in由比	由比町

※太字の行事について、会員本人の積極的なご参加をお願い申し上げます。

土砂災害防止月間　6月1日▶30日
がけ崩れ防災週間　6月1日▶ 7日

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、主に雨などが原因となって発生します。梅雨時は、雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は異常な集中豪雨による被害が増えていますので、雨が降り出したら気象情報などに注意しましょう。

毎年6月を土砂災害防止月間として、土砂災害防止について県民が理解し関心を深めるため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災パトロール、啓発チラシの配布、講習会などを実施します。

行事予定

6月	1～ 2日	土砂災害防止推進の集い（秋田市）
	1～15日	急傾斜地パトロール（県内）
	1～30日	平成17年度土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の入賞作品展示（県庁）
	1～9/15	土砂災害防止に関する作品募集
	4日	砂防フェスティバルしずおか（静岡市青葉シンボルロード）
	8日	土砂災害に対する全国統一防災訓練

2005砂防フェスティバル

急傾斜地パトロール

土砂災害防止PRのため、会員の皆様に
- **懸垂幕または横断幕**
- **マグネットシート（車貼付け用）**
- **ティッシュボックス**

を送付します。どうぞご活用ください。

土砂災害関連情報については、**静岡県砂防室ホームページ**をご覧ください。
http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html

速報

平成18年度 当初予算 100億7,925万円余

砂防関係予算

平成18年度当初予算が平成18年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は前年度と同額の1兆1,403億円となりました。

砂防関係予算の総額は100億7,925万円余で前年度より約1億8,913万円の減となりました。（前年度当初比98.2%）主な内訳は次のとおりです。

① 国庫補助事業　73億0,600万円（前年度当初比98.2%）

国の補助を得て、渓流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

② 県単独事業　16億5,900万円（前年度当初比100.7%）

国庫補助事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、東海地震に備えて緊急輸送路関連土砂災害対策事業等を実施します。

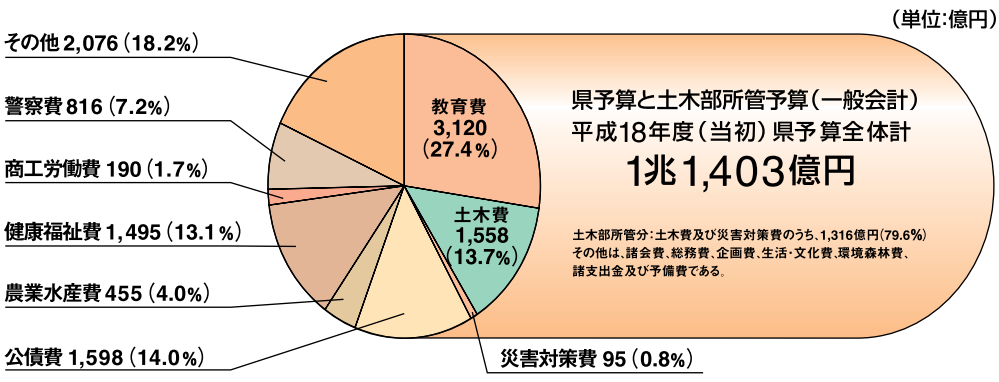
③ 国直轄事業費負担金　11億1,100万円（前年度当初比94.3%）

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び、由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

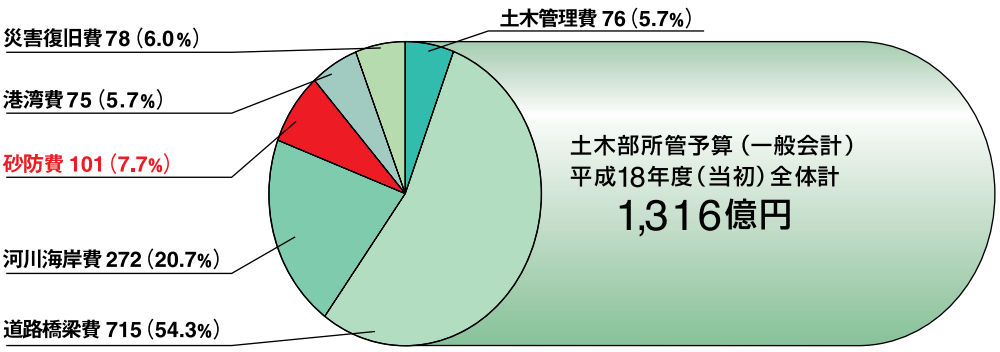
静岡県の砂防関係予算

●県予算と土木部予算（平成18年度当初）

（単位:億円）



●土木部所管予算（平成18年度当初）



●平成18年度砂防関係事業予算額

（単位：千円、％）

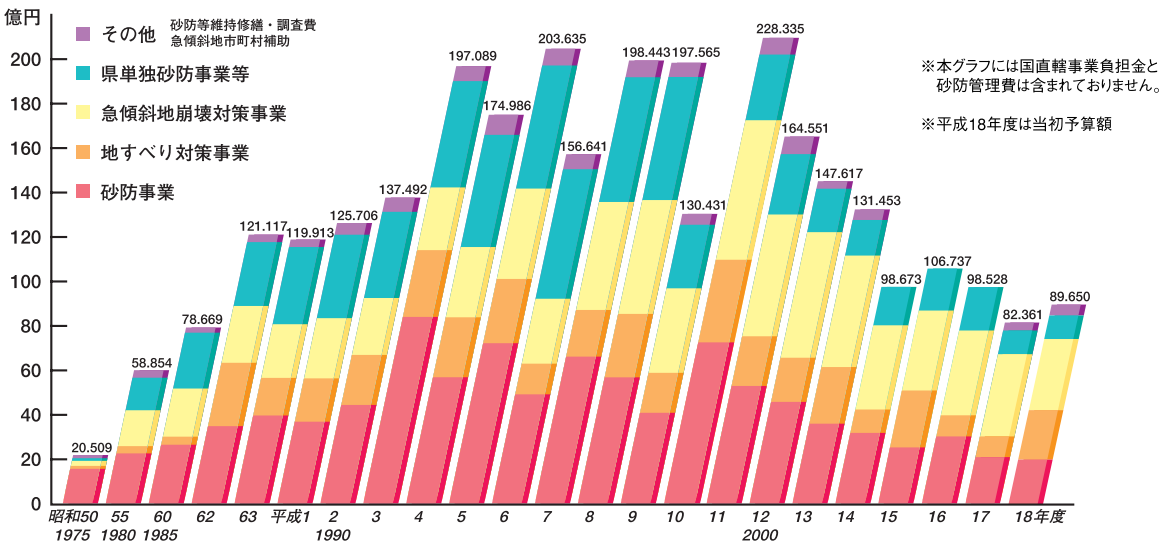
事業名				平成18年度 当初 A	平成17年度 当初 B	平成17年度 最終 C	A／B	A／C
砂防管理費				3,258	3,388	3,388	96.2	96.2
国庫補助事業	砂防	通常	通常砂防	708,000	984,000	874,000	72.0	81.0
			通常砂防（河川等関連）	140,000	74,000	144,000	189.2	97.2
			通常砂防（住宅特治）	100,000			皆　増	皆　増
			通常砂防（総流防）			40,000		皆　減
			情報基盤緊急整備（砂防）	10,000	8,000	8,000	125.0	125.0
			相互通報システム（砂防）	24,000	31,000	13,000	77.4	184.6
			小　々　計	982,000	1,097,000	1,079,000	89.5	91.0
		火山	火山砂防	558,000	690,000	658,000	80.9	84.8
			火山砂防（河川等関連）	80,000	35,000	105,000	228.6	76.2
			特定緊急砂防	70,000			皆　増	皆　増
			小　々　計	708,000	725,000	763,000	97.7	92.8
		砂防基礎調査（砂防）		285,000	186,000	216,000	153.2	131.9
		小　計		1,975,000	2,008,000	2,058,000	98.4	96.0
	地すべり	地すべり	地すべり対策	196,000	324,000	202,000	60.5	97.0
			地すべり対策（河川等関連）	162,000	150,000	162,000	108.0	100.0
			地すべり対策（住宅特治）	40,000			皆　増	皆　増
			特定緊急地すべり対策	222,000		75,000		296.0
			地すべり対策（総流防）			35,000		皆　減
			情報基盤緊急整備（地すべり）	2,000	1,000	1,000	200.0	200.0
			相互通報システム（地すべり）	2,000	1,000	2,000	200.0	100.0
			小　々　計	624,000	476,000	477,000	131.1	130.8
		砂防基礎調査（地すべり）		3,000	3,000	3,000	100.0	100.0
		小　計		627,000	479,000	480,000	130.9	130.6
	急傾斜	急傾斜	急傾斜地崩壊対策	2,069,000	2,840,000	2,293,350	72.9	90.2
			急傾斜地崩壊対策（河川等関連）	160,000	110,000	180,000	145.5	88.9
			急傾斜地崩壊対策（住宅特治）	80,000			皆　増	皆　増
			急傾斜地崩壊対策（総流防）	420,000		464,750		90.4
			情報基盤緊急整備（急傾斜）	34,000	21,000	21,000	161.9	161.9
			相互通報システム（急傾斜）	42,000	78,000	67,000	53.8	62.7
			小　々　計	2,805,000	3,049,000	3,026,100	92.0	92.7
		急傾斜地基礎調査		87,000	75,000	66,000	116.0	131.8
		小　計		2,892,000	3,124,000	3,092,100	92.6	93.5
	砂防関係通常国庫補助事業計			5,494,000	5,611,000	5,630,100	97.9	97.6
	東富士演習場周辺地区障害防止対策事業			103,000	120,000	119,999	85.8	85.8
	災害関連	災害関連緊急砂防		189,000	189,000		100.0	皆　増
		災害関連緊急地すべり対策		1,350,000	1,350,000	615,000	100.0	219.5
		災害関連緊急急傾斜地崩壊対策		170,000	170,000	224,000	100.0	75.9
		小　計		1,709,000	1,709,000	839,000	100.0	203.7
	国庫補助事業　計			7,306,000	7,440,000	6,589,099	98.2	110.9
県単独事業	生活環境整備	砂防事業等	通常砂防	380,500	380,500	380,500	100.0	100.0
			地すべり対策	31,000	31,000	31,000	100.0	100.0
			急傾斜地崩壊対策	489,000	457,000	457,000	107.0	107.0
			災害緊急整備（地すべり）	50,000	50,000	50,000	100.0	100.0
			緊急輸送路関連土砂災害対策	60,000	60,000	60,000	100.0	100.0
			地すべり対策	20,000	20,000	20,000	100.0	100.0
			急傾斜地崩壊対策	40,000	40,000	40,000	100.0	100.0
			砂防等維持修繕	164,500	164,500	164,500	100.0	100.0
			砂防等調査	174,980	182,000	182,000	96.1	96.1
			砂防等台帳整備	12,020	13,000	13,000	92.5	92.5
			小　々　計	1,362,000	1,338,000	1,338,000	101.8	101.8
		急傾斜地崩壊対策事業補助	施設整備	35,000	37,000	37,000	94.6	94.6
			指定促進対策	23,000	25,000	25,000	92.0	92.0
			小　々　計	58,000	62,000	62,000	93.5	93.5
		生活環境整備事業　計		1,420,000	1,400,000	1,400,000	101.4	101.4
	自然災害	砂防		104,000	107,000	107,000	97.2	97.2
		地すべり対策		17,000	18,000	18,000	94.4	94.4
		急傾斜地崩壊対策		118,000	122,000	122,000	96.7	96.7
		自然災害防止事業　計		239,000	247,000	247,000	96.8	96.8
	県単独事業　計			1,659,000	1,647,000	1,647,000	100.7	100.7
砂防費計				8,965,000	9,087,000	8,236,099	98.7	108.9
国直轄事業負担金				1,111,000	1,178,000	1,790,187	94.3	62.1
砂防費				**10,079,258**	**10,268,388**	**10,029,674**	**98.2**	**100.5**

※平成17年度最終Cの国庫補助事業の火山砂防事業は、アロケーションによる市負担金38,000千円を含む

〈国庫補助事業・県単独事業の区分内訳〉

			平成18年度 当初 A	平成17年度 当初 B	平成17年度 最終 C	A／B	A／C
国庫補助事業	区分	砂防	1,948,000	2,092,000	1,940,999	93.1	100.4
		地すべり対策	1,970,000	1,824,000	1,089,000	108.0	180.9
		急傾斜地崩壊対策	2,899,000	3,120,000	3,162,100	92.9	91.7
		総合土砂災害対策（ソフト）	489,000	404,000	397,000	121.0	123.2
	計		7,306,000	7,440,000	6,589,099	98.2	110.9
県単独事業	区分	砂防	484,500	487,500	487,500	99.4	99.4
		地すべり対策	118,000	119,000	119,000	99.2	99.2
		急傾斜地崩壊対策	705,000	681,000	681,000	103.5	103.5
		その他（維持修繕・調査）	351,500	359,500	359,500	97.8	97.8
	計		1,659,000	1,647,000	1,647,000	100.7	100.7

●砂防関係事業費の推移



※本グラフには国直轄事業負担金と砂防管理費は含まれておりません。

※平成18年度は当初予算額

あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布しているため、15,193箇所と数多くの土砂災害危険箇所が

県では、土砂災害から県民の生命財産を守るため、砂防えん堤などの土砂災害防止施設の整備（ハード対策）とともに、「土

住民への危険箇所の周知（ハザードマップの配布、危険箇所表示板の設置）、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソフト

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

（平成18年4月1日 現在）

所管土木	市町村名	土砂災害危険箇所 危険箇所数				土砂災害警戒区域等 区域指定状況				ハザードマップ作成状況（作成年度）	危険箇所表示板設置数	情報機器の整備	
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計			機器の種別	設置年度
下田	下田市	235		311	546	3		5	8	H16	216	CATV、メール配信	H14
	東伊豆町	23	6	56	85					H16	60		
	河津町	92	5	112	209					H16	96	CATV、有線電話	H14
	南伊豆町	252	1	245	498					H16	183	メール配信	H14
	松崎町	92	1	128	221					(H8) H18	109	CTI、同報無線	H16
	西伊豆町	86	1	116	203					(H8) H18	123		
	小　計	780	14	968	1,762	3		5	8		787		
熱海	熱海市	98	1	167	266	1		13	14	H16	159	CTI、同報無線	H16
	伊東市	105	2	216	323					H14	140	CATV	H15
	小　計	203	3	383	589	1		13	14		299		
沼津	沼津市	116		169	285					H15	180	同報無線	H15
	三島市	23		82	105			30	30	H15	55	CTI、同報無線	H17
	御殿場市	30		7	37					H13	17		
	裾野市	44		38	82					H16	54		
	伊豆市	480	8	371	859					H15	484		
	伊豆の国市	103	1	198	302					H15	135	同報無線、電話応答装置	H15（旧大仁）
	函南市	32	1	74	107			4	4	H14	46		
	清水町	2		16	18					H15	7		
	長泉町	2		29	31					H15	13		
	小山町	47		61	108					H16	71		
	小　計	879	10	1,045	1,934			34	34		1,062		
富士	富士宮市	40		111	151	3			3	H15	57	同報無線、電話応答装置	H16
	富士市	24		108	132					H13	45	コミュニティFM送信装置	H17
	芝川町	67	1	164	232					H13	94		
	小　計	131	1	383	515	3			3		196		
静岡	静岡市	893	5	1,703	2,601	12		21	33	(H9) H18	1,255		
	富士川町	33	1	60	94					H13	39		
	由比町	26	6	80	112					H16	35		
	小　計	952	12	1,843	2,807	12		21	33		1,329		
島田	島田市	163	13	389	565					H15・H16	136	インターネット配信	H14
	焼津市	24	1	48	73					H14	42		
	藤枝市	119	26	318	463					H13	163	CTI	H14
	岡部町	86	1	128	215					H13	65	同報無線	H14
	大井川町												
	川根町	35	13	104	152					H13	35		
	川根本町	42		143	185					H13	42		
	小　計	469	54	1,130	1,653						483		
御前崎	御前崎市	12		324	336					H16	26		
	牧之原市	44	2	320	366					H15・H16	66		
	吉田町			6	6					H16	2		
	小　計	56	2	650	708						94		
袋井	磐田市	66		211	277					H15	44		
	掛川市	134	11	881	1,026	14		34	48	H15	132	同報無線、電話応答装置	H15、H16
	袋井市	32		220	252					H15	44	CTI	H16
	菊川市	44		423	467					H16	82	CTI、メール配信	H16
	森町	59	5	364	428					H13	52	同報無線、電話応答装置	H15
	小　計	335	16	2,099	2,450	14		34	48		354		
天竜	浜松市（1）	292	66	898	1,256	10			10	(H9～H15) H18	538	CTI、同報無線	H13～H15
	小　計	292	66	898	1,256	10			10		538		
浜松	浜松市（2）	148	5	1,183	1,336	7		21	28	H13～H16	251	同報無線、電話応答装置	H15（旧引佐）
	浜松市計	440	71	2,081	2,592	17		21	38		789		
	湖西市	2		151	153					H15	34		
	新居町			30	30					H16	16		
	小　計	150	5	1,364	1,519	7		21	28		301		
合　計		4,247	183	10,763	15,193	50		128	178	84%	5,443		

■CTI：予め登録された住民の方々へ、市町から自動的に土砂災害情報を電話連絡するシステム

存在しています。
砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指定や、
対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

土砂災害危険箇所は、
砂防室ホームページ
http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html
でご覧になれます。

市町別ハード対策（土砂災害防止施設の整備）の実施状況

（平成18年4月1日 現在）

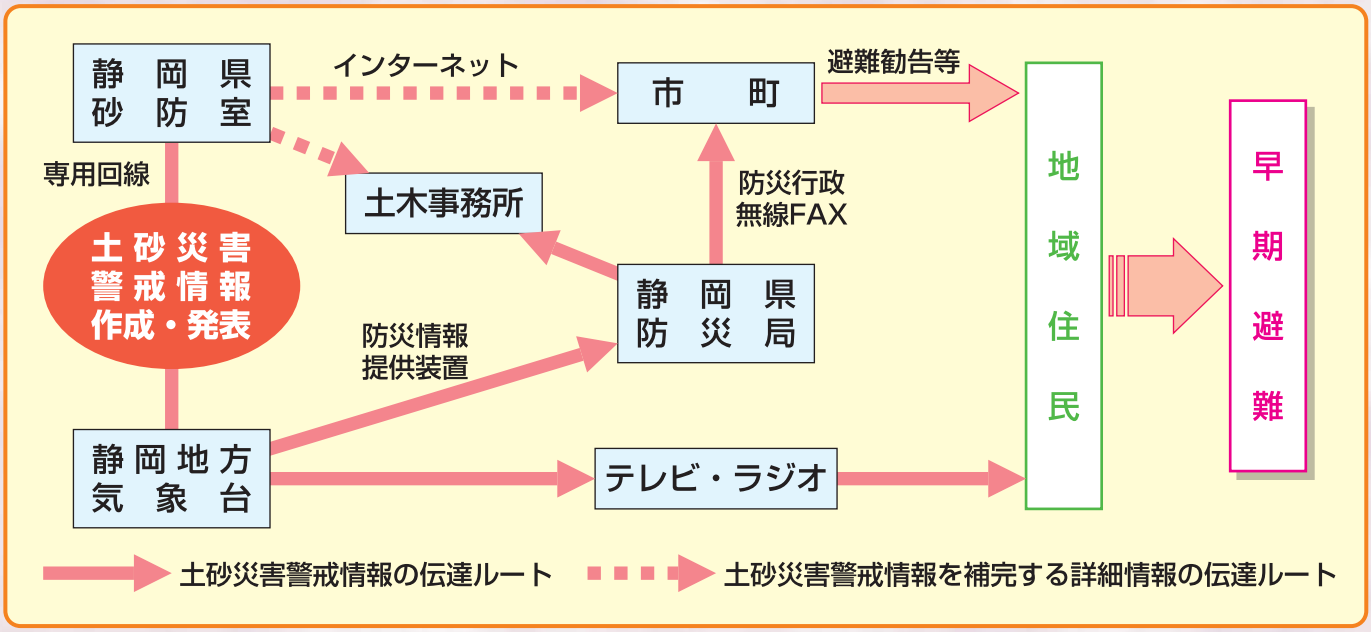
所管土木	市町村名	土石流			地すべり			急傾斜地			合計		
		要対策渓流数	概成渓流数	整備率（%）	要対策箇所数	概成箇所数	整備率（%）	要対策箇所数	概成箇所数	整備率（%）	要対策箇所数	概成箇所数	整備率（%）
下田	下田市	94	14	14.9				164	21	12.8	258	35	13.6
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	7	18.4	60	16	26.7
	河津町	53	13	24.5	5	2	40.0	44	12	27.3	102	27	26.5
	南伊豆町	119	8	6.7	1	1	100.0	131	33	25.2	251	42	16.7
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	18	23.4	149	26	17.4
	西伊豆町	64	16	25.0	1			67	16	23.9	132	32	24.2
	小　計	417	66	15.8	14	5	35.7	521	107	20.5	952	178	18.7
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	12	12.6	187	29	15.5
	伊東市	82	20	24.4	2	1	50.0	110	22	20.0	194	43	22.2
	小　計	173	37	21.4	3	1	33.3	205	34	16.6	381	72	18.9
沼津	沼津市	96	19	19.8				128	65	50.8	224	84	37.5
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	5	62.5				3			11	5	45.5
	裾野市	23	8	34.8				24	6	25.0	47	14	29.8
	伊豆市	328	34	10.4	8	1	12.5	148	27	18.2	484	62	12.8
	伊豆の国市	74	2	2.7	1			82	22	26.8	157	24	15.3
	函南市	14	3	21.4	1			32	5	15.6	47	8	17.0
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	1	5.6	19	1	5.3
	小山町	35	9	25.7				37	16	43.2	72	25	34.7
	小　計	596	83	13.9	10	1	10.0	522	159	30.5	1,128	243	21.5
富士	富士宮市	34	3	8.8				33	11	33.3	67	14	20.9
	富士市	20	6	30.0				34	15	44.1	54	21	38.9
	芝川町	32	8	25.0	1			48	8	16.7	81	16	19.8
	小　計	86	17	19.8	1			115	34	29.6	202	51	25.2
静岡	静岡市	523	100	19.1	5	3	60.0	632	247	39.1	1,160	350	30.2
	富士川町	28	6	21.4	1	1	100.0	21	12	57.1	50	19	38.0
	由比町	17	8	47.1	6			22	11	50.0	45	19	42.2
	小　計	568	114	20.1	12	4	33.3	675	270	40.0	1,255	388	30.9
島田	島田市	65	13	20.0	13	6	46.2	107	47	43.9	185	66	35.7
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	19	76.0	39	27	69.2
	藤枝市	36	7	19.4	26	4	15.4	75	37	49.3	137	48	35.0
	岡部町	33	17	51.5	1	2	100.0	42	13	31.0	76	32	42.1
	大井川町												
	川根町	18	3	16.7	13			25	10	40.0	56	13	23.2
	川根本町	23	4					33	7	21.2	56	11	19.6
	小　計	188	51	27.1	54	13	24.1	307	133	43.3	549	197	35.9
御前崎	御前崎市	1						33	14	42.4	34	14	41.2
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	100.0	57	15	26.3	72	29	40.3
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	小　計	14	11	78.6	2	3	100.0	93	31	33.3	109	45	41.3
袋井	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
	掛川市	39			11	4	36.4	102	19	18.6	152	23	15.1
	袋井市	7						30	8	26.7	37	8	21.6
	菊川市	9	2	22.2		1		84	26	31.0	93	29	31.2
	森町	23	5	21.7	5	2	40.0	26	3	11.5	54	10	18.5
	小　計	98	8	8.2	16	7	43.8	275	59	21.5	389	74	19.0
天竜	浜松市（1）	128	41	32.0	66	19	28.8	306	60	19.6	500	120	24.0
	小　計	128	41	32.0	66	19	28.8	306	60	19.6	500	120	24.0
浜松	浜松市（2）	43	8	18.6	5	3	60.0	281	61	21.7	329	72	21.9
	浜松市計	171	49	28.7	71	22	31.0	587	121	20.6	829	192	23.2
	湖西市							38	5	13.2	38	5	13.2
	新居町							16	4	25.0	16	4	25.0
	小　計	43	8	18.6	5	3	60.0	335	70	20.9	383	81	21.1
合　計		2,311	436	18.9	183	56	30.6	3,354	957	28.5	5,848	1,449	24.8

■要対策箇所：人家5戸以上に被害を及ぼす恐れのある危険箇所のうち、人工斜面や他事業で対応すべき箇所を除いた箇所

気象庁と連携した土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害のおそれがある時に、市町長が発令する避難勧告等の判断の支援や住民の自主避難等の参考となるよう、県と気象台が共同で作成し発表する新たな防災情報です。平成17年度は、学識経験者、マスコミ、地域住民、行政関係者からなる「静岡県土砂災害警戒情報検討委員会」を設置し、土砂災害警戒情報の発表の基準等について検討しました。平成18年度は、実際の大雨時に土砂災害警戒情報の試験運用を行い発表状況等を検証するとともに、県と気象台との間で雨量情報等の交換を行うためのオンライン化（機器整備）を実施し、平成19年度中の運用開始を目指します。

●土砂災害警戒情報の伝達・提供



市町へは、県防災局の防災行政無線により提供され、砂防室のインターネットによる補完情報と合わせ、住民への避難勧告等の発令の検討資料となります。また、住民へは気象台からのマスコミへの情報提供により、テレビやラジオを通じて「土砂災害警戒情報」として提供されます。

砂防室からの補完情報は、スネーク曲線として、これまでもインターネットを通じて市町に提供されていますが、気象庁と連携した土砂災害警戒情報は、今までより発表頻度を下げ、危険度が切迫していることを知らせるために発表するもので、土砂災害危険度情報や雨量情報及び今後とるべき行動などの情報も提供する予定です。

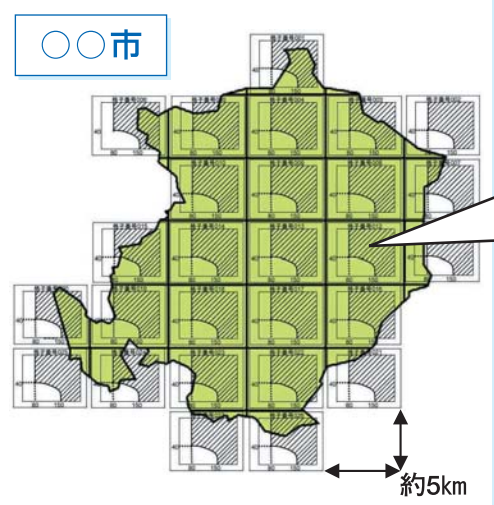
静岡県土砂災害警戒情報検討委員会

【委員長】土屋　　智　静岡大学農学部教授
【委　員】中村　　功　東洋大学社会学部教授
春田　忠治　静岡県自主防災活動推進委員会委員長
都築　雅彦　日本放送協会（NHK）静岡放送局放送部長
小山内信智　国土交通省国土技術政策総合研究所
危機管理技術研究センター　砂防研究室長
吉村　元吾　国土交通省中部地方整備局河川部建設専門官
大城　伸彦　伊豆市長
北島　　博　静岡地方気象台次長
三浦　安夫　静岡県防災局次長
本橋　和志　静岡県土木部砂防統括監

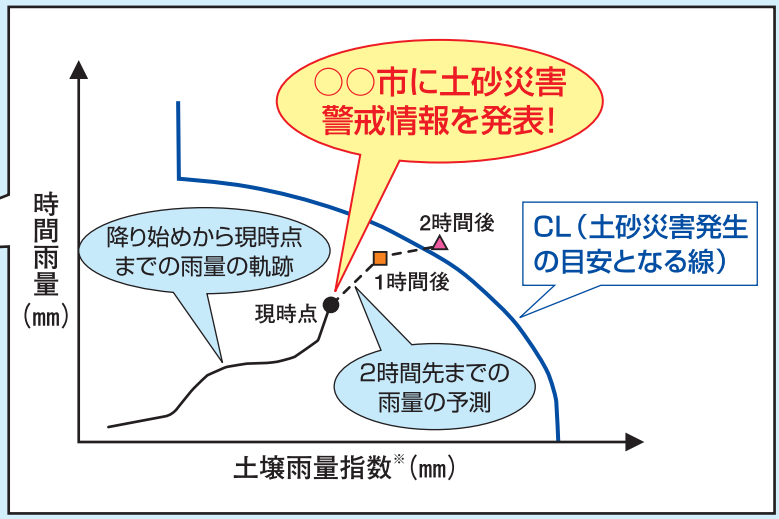
第2回検討委員会　土屋委員長の挨拶

●土砂災害警戒情報の発表タイミング

予測雨量により、土砂災害発生の危険性が高まる2時間前に発表します。



5km格子単位で土砂災害発生の目安となる線（CL）を設定



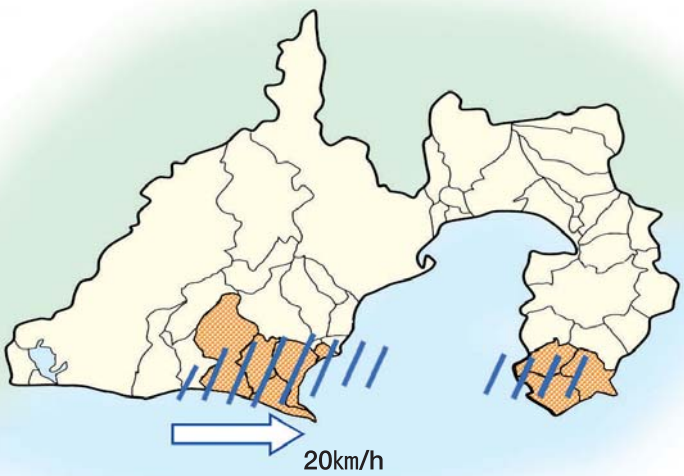
※地面にたまった水分の量

●土砂災害警戒情報の発表例

静岡県土砂災害警戒情報　第○号

平成○年○月○日○時○分
静岡県　静岡地方気象台　共同発表

【警戒対象地域】Ａ市、Ｂ町、Ｃ町、Ｄ市、Ｅ市、Ｆ町、Ｇ市、Ｈ市
今後2時間以内に、大雨による土砂災害の危険度が非常に高くなる見込みです。
土砂災害危険箇所及びその周辺では厳重に警戒して下さい。
警戒対象地域での今後2時間以内の予想1時間雨量は、多いところで60mmです。



【凡　例】
- 警戒対象地域
- 警戒解除地域
- 強雨域（1時間30ミリ以上）
- 雨域移動方向

【問合せ先】
000-000-0000（静岡県土木部砂防室）
000-000-0000（静岡地方気象台技術課）

平成17年度

「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」優秀作品の表彰

平成17年度に、「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」を募集したところ、静岡県内で総数で91点（全国で4,863点）の応募がありました。県内における地方審査と国の中央審査の結果、土砂災害防止の重要性を伝える7作品が各賞を受賞され、3月27日に、県庁において表彰式が行われました。

表彰式では、受賞者とその家族などが出席するなか、静岡県太田土木部技監により、入賞された皆さんに表彰状が授与されました。

■ 受賞者の皆さん

国土交通省砂防部長賞	ポスター	浜松市立浜名中学校	2年	平野　麻衣
静岡県知事賞	絵　画	浜松市立大崎小学校	6年	堤　　夏希
静岡県土木部長賞	絵　画	川根本町立中川根中学校	2年	栗田　佳樹
全国砂防協会 静岡県支部長賞	ポスター	磐田市立磐田中部小学校	5年	吉村帆波美
	作　文	浜松市立渋川小学校	4年	松本　　葵
	ポスター	富士宮市立上野小学校	6年	柏木　　淳
	作　文	静岡大学教育学部附属島田中学校	3年	中村　　和

※学校・学年は応募当時のものです。

【受賞作品の紹介】

作文の部

●全国治水砂防協会静岡県支部長賞　『土砂さいがい』　浜松市立渋川小学校4年　松本　葵さん

ぼくの地いきでは、大雨や地しんや台風などがおきると、地すべりやがけくずれになりそうな場所がたくさんあると思います。

もし、このようなさいがいがおきると、きっとケガ人がでたり、人が死んだり、町や家がこわれたり、電気やガスが使えなくなったり、水道が使えなくなったり、道路が使えなくなったりすると思うのでそうならないようにしてほしいです。

また、ぼくの地いきでは、三遠南信道路が通る事になって工事が始まり、木を切ったり山をほったり田んぼや畑をうめたり家を立ちのきになる人があったりして、これもさいがいにつながってしまうと思うのでそうならないようにしてほしいです。

ぼくの家の周りで土砂さいがいのたいさくは、どのようにとっているか調べて見たら五つの工夫がありました。一つ目はブロックがつんでありました。二つ目はコンクリートがふきつけられていました。三つ目はフェンスがはってありました。四つ目はしゃ面にしばふのような物を生やしてありました。五つ目はダムが作ってありました。そしてこれは工夫とはちがうかもしれないけれど、たくさんの木が植えられていることもそうだと思いました。なぜそう思ったかというと、木は地面に根を広くはって、地面をかたくしてくれているんじゃないかなあと思ったからです。だから、木はできるだけ切らないで大切に守っていくべきだと思います。それと木を植えていくことも大切だと思います。そうすることで土砂がくずれた時小さなさいがいですむと思いました。

最近、宮ぎ南部地しんがありました。ぼくの住んでいる地いきは東海大地しんがおきると、ぼくのお母さんが子供のころから言われているけれど、いまだにおきていません。新がた県中えつ地しんの時の山古し村を見て、ぼくの村の様子がぼくの住んでいる地いきに、にているので想像したらとてもおそろしくなりました。道路が土砂でふさがれたら、きゅう助たいが助けにこれなかったり、きゅうえん物資がとどけられなくてみんな困ってしまいます。だから地しんなんかおきなければいいと思います。でも地しんは自ぜんにおこることなので、どうすることもできないから、何かいい対さくを考えるしかないと思います。ぼくが調べた五つの工夫よりも、もっとすごい対さくを考えてほしいです。

絵画の部

●静岡県知事賞

浜松市立大崎小学校6年
堤　夏希 さん

●静岡県土木部長賞

川根本町立中川根中学校2年
栗田　佳樹 さん

作文の部

●全国治水砂防協会静岡県支部長賞　『土砂災害を考える』　静岡大学教育学部附属島田中学校3年　中村　和さん

私達は、毎日のニュースの中で、よく土砂災害という言葉を耳にしますが、土砂災害について、日常生活の中で特に対策をとったことはないような気がします。私は、土砂災害という言葉を知っていながら、その危険性を理解できていないのだと思います。そこで、土砂災害について真剣に考えてみました。

土砂災害には、大きく分けて三種類あります。まず、台風や集中豪雨などによって、山腹や渓流の土砂が下流へ押し流されてくる土石流。次に、地下水の影響と重力によって、地面がゆっくりと斜面下方へ移動する地すべり。これは、一旦動きだすと完全に停止させることは困難で、一般的に範囲が広く、大きな被害を及ぼします。最後に、雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れおちるがけ崩れです。例年、土砂災害の被害の多くはがけ崩れが占めています。土砂災害について、私はがけ崩れに注目して考えてみました。

がけ崩れの原因は、雨や地震の影響によって地盤がゆるむことです。恐ろしいところは、急斜面で突然おこることです。がけ崩れは、地盤のゆるんでいる急斜面で、突然おきるのです。

私達の日常生活の中でも、急斜面を見かけることがありますが、いつも無意識に側をとおっています。しかし、そんな場所でも、いつも通り側をとおっているとき、一瞬の内に突然がけ崩れがおきる可能性もあるのだと思いました。

ここ数年、東海地震が近い内におきるといわれています。また、マグニチュードは、阪神淡路大震災よりも大きくなる可能性もあるといわれています。そこで、東海地震の際、その影響で多くのがけ崩れがおきると予想されます。

私達は、東海地震の際にも、自分の身を守り、被害を最小限に抑える努力をする必要があると思います。しかし、がけ崩れはいつ、どこでおきるかわかりません。私は、地震がおきた直後にがけ崩れにあったら、とても混乱してしまうと思います。だからこそ、日頃からの対策が大切なのだと思います。

まず私達にできることは、日頃から急斜面のところにできる限り近づかないようにすることだと思います。がけ崩れはいつおきるかわからないので、がけ崩れをさけるには、日頃からがけ崩れのおきる可能性のない道を選ぶことがとても大切です。

しかし、林野が県内の六割以上を占める静岡県には、急斜面が多くあります。全てをさけることはできません。そして、がけ崩れや地震などの突発的な自然災害にそう遇したとき、どんな人でも混乱すると思いますが、がけ崩れでは混乱しているその一瞬が、とても重要なので、もしがけ崩れにそう遇した場合、混乱せず、冷静に、正しい行動をできる限りはやくとることがとても大切だと思います。

だから私は、自分の生活の中で関係する場所の周辺で、がけ崩れのおきる可能性のある急斜面をしっかり知っておくことも大切だと思います。知っておくことで、その場所でがけ崩れがおきてもおきる可能性があるとわかっているから、混乱することをある程度防げると思うからです。

さらに、がけ崩れがおきたときのことを考え、その場所にあった対策をたてることも大切だと思います。対策を考えておくことで、その場所でがけ崩れがおきたとき正しい行動をとることができると思います。また、がけ崩れがおきる前に考えるので、がけ崩れがおきてから考えるより、はやく行動にうつせると思います。

私は今まで、土砂災害はどこか遠くの危険だと思っていましたが、実際は日常生活の中で常にひそんでいる危険なのだと気づきました。私達の生活の中で急斜面がある限り、常にがけ崩れの可能性はつきまといます。さらに、東海地震がおきたとき、ほぼ確実に多くのがけ崩れがおきると予想されていますが、自分の身は自分で守るしかありません。今までより近くの危険となった土砂災害に、私は私のできる範囲でできる限りの対策をとっていきたいと思います。

ポスターの部

●全国治水砂防協会静岡県支部長賞

富士宮市立上野小学校6年
柏木　淳 さん

●全国治水砂防協会静岡県支部長賞

磐田市立磐田中部小学校5年
吉村　帆波美 さん

●国土交通省砂防部長賞

浜松市立浜名中学校2年
平野　麻衣 さん

清水惠命雄氏（元静岡県砂防課長）が赤木顕功賞を受賞

清水氏

清水惠命雄元砂防課長が平成17年度赤木顕功賞を受賞され、3月16日に、砂防会館（東京都）で表彰式が行われました。

清水氏は、昭和34年に静岡県下田土木事務所に奉職されて以来、35年間の長きわたり本県の土木行政を推進されました。特に、砂防課には課長の3年を含め通算17年間在籍され、本県砂防行政の推進に多大の貢献をされたことから今回の受賞となりました。

赤　木　顕　功　賞

砂防行政の発展及び砂防技術の向上に多大の功績があった方に贈られる賞。平成17年度全国で3名受賞、静岡県では八木氏に次いで2人目の受賞

表彰状授与

由比地すべり対策事業起工式が開催される

鍬入れ式（左から石川知事、清治技監、望月由比町長、小嶋静岡市長）

1月14日に、由比地すべり対策事業の工事の安全を祈願する起工式が国土交通省富士砂防事務所により由比町薩埵峠で開催されました。来賓として国会議員を始め清治国土交通省技監、亀江砂防部長や大村中部地方整備局局長などが出席され、静岡県からは石川知事、古川土木部長、松村河川砂防総室長、小嶋静岡市長、望月由比町長などが出席されました。

起工式の後、作家幸田文氏の薩埵峠について記した「崩れ」の一節が刻まれた文学碑の除幕式が行われました。除幕は、孫の青木奈緒さんや由比町長などにより行われました。

全国治水砂防協会各支部事務局員会議が開催される

3月15日に、砂防会館で全国治水砂防協会各支部の事務局員会議が開催されました。

始めに、大久保理事長より会員数の減少に伴う予算縮小の中にあっても積極的な活動を行いたいとの挨拶がありました。続いて、岡本理事より平成17年度の事業報告が、宮内事務局長より運営事項についての説明がありました。また、国土交通省砂防部の大野砂防計画調整官から「砂防行政の最近の話題」と題し、講演があり、地方の協会事務局員にとっては有意義な会議になりました。

静岡県ボランティア協会総会が開催される

2月2日に、静岡県砂防ボランティア協会の平成17年度総会が静岡市内で開催されました。会員36名の出席があり、平成17年度の活動報告と平成18年度の活動計画等が承認され、棚田新会長、大池新副会長が選出されました。なお、今回、新会員3名が加わり、会員数は総勢61名（内、斜面判定士24名）となりました。

砂防ボランティアの皆さん

富士山火山砂防計画検討委員会が開催される

3月14日に、第3回富士山火山砂防計画検討委員会が富士宮市で開催されました。本委員会は、富士山の噴火による土砂災害の軽減に向け、施設整備を中心に対策を協議するものです。

今回は、静岡、山梨両県で1箇所ずつのモデル渓流を選定し、噴火現象が発生した際の降灰による土石流や溶岩流、融雪型火山泥流などの被害やハード施設の効果を検証しました。

池谷委員長の挨拶

口坂本地すべり基本計画検討委員会が開催される

口坂本地すべり基本計画検討委員会の状況

2月22日に、口坂本地すべり基本計画検討委員会が開催されました。委員会では、平成17年度に実施した孔内水位計や地盤伸縮計等の計器観測結果等による地すべりの現況、及び平成17年度実施した集水ボーリングの事業効果について報告されました。

また、平成18年度の調査観測計画及び対策工と今後の事業方針及び監視体制等について検討されました。

静岡市都市山麓グリーンベルト ボランティア団体とワークショップを開催

2月26日に、清水大内地区において、ボランティア団体と「第3回大内地区の里山を考える会」を開催しました。

ボランティア団体「森と水辺を育てる会」が発足して約3年、様々な活動が進められてきましたが、同時に問題点や要望の声もあがってきています。

ボランティア団体からは、活動しやすいよう山道を奥までつけてほしい、多くの方に竹林伐採など活動の必要性や内容を判ってほしいなど活発な意見が出されました。

その他の行事

平成18年	2月	7日	土砂災害防止法連絡会（静岡県庁）
		10日	東海地区砂防担当補佐会議（岐阜県）
		13日	環富士山火山防災連絡会議（富士宮市）
		17日	中部ブロック土砂災害防止法検討会議（愛知県）
		28日	由比地すべり対策技術検討部会（由比町）
	3月	15日	第2回静岡県土砂災害情報検討委員会（静岡県庁）
		16日	由比地すべり対策検討委員会（由比町）
		16～17日	第46回砂防および地すべり防止講習会（東京都）

平成の大合併

「森の力」に期待

旧天城湯ヶ島町長　立岩博明

“森と湯の国「天城湯ヶ島町」”は、東部で最初に合併を行い、平成16年4月1日「伊豆市」に生まれ変わりました。17年7月には《伊豆ナンバー》の導入も決定し、天城北道路の建設も平成24年度の完成を目指し、着々と進んでいると聞き、伊豆市民の一人として喜びに耐えません。

現代は、情報の時代、ＩＴの時代、変革の時代等々と言われ、時代の流れのスピードに驚かされています。また、一つには自然環境を含めた「環境の時代」でもあります。このテーマは永遠に続くように思われます。

自然環境あふれた伊豆市は面積363.97㎢のうちの82.7%が森林です。森林は土砂災害の防止、水源の涵養など大切な役割を果たしています。荒廃した森林を再生し、森林環境を保全し、『森の力』を有効利用するための「森林（もり）づくり県民税」に大きな期待を寄せております。

合併に伴い退任し、今、地域の住民としてひしひしと感じる事は、孔子の『近き者喜び、遠き者来たる』（近くの人々は悦び、遠くの人々はそれを聞いて慕ってやってくるように）の言葉です。近き者（地域）の安心・安全のために、これからも治水砂防事業の充実と、当協会の益々の発展、関係各位のご活躍ご健勝を心からお祈り申し上げます。

砂防は伊豆市誕生の土壌

旧中伊豆町長　海瀬英治

ここ数年間だけでも世界・国内各地に大地震・台風による災害が多発しています。治山治水は国づくり郷土づくりの土台であります。

平成16年4月１日、土肥・修善寺・天城湯ヶ島・中伊豆４町が合併して伊豆市がスタートしました。

かえりみますと狩野川台風による未曽有の被害を受けた修善寺・中伊豆・湯ヶ島3町が直轄砂防地区に指定され、爾来半世紀に及ぶ長い間、直轄砂防工事は着実に実施され天城山中から里山まで116施設の砂防ダムが建設され安全な郷土づくりが推進されてきました。私たち3町も狩野川直轄砂防促進期成同盟会を結成し国に対し要望を重ねてきましたが、このことが一体感を強め平成の大合併に県下の先陣を切って合併を成し遂げた土壌と成っていたのではないかと思います。

また、急傾斜地崩壊対策事業も実施され身近な災害安全対策も進められております。これらの事に対して国・県・全国治水砂防協会静岡県支部に衷心より感謝申し上げます。

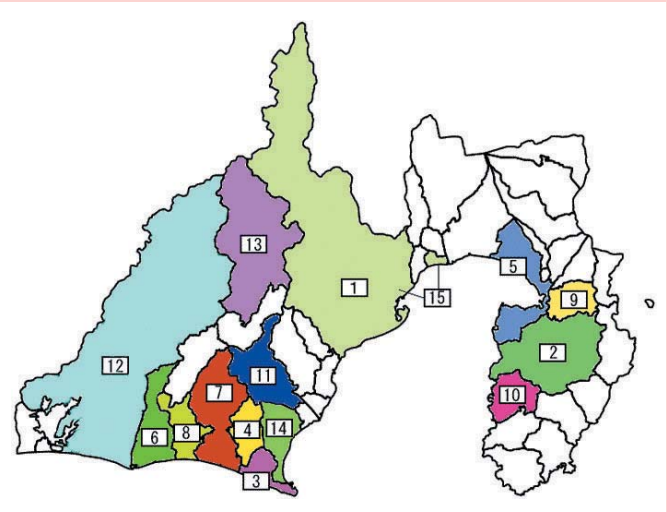
旧中伊豆町は「谷の文化」のまちであります。清く豊かな天城の水が人々の努力と相まって質・量ともに日本一のわさびを育て大見川となり市民の生活を支えています。今後とも砂防事業が継続され、より一層災害に強い伊豆市になることを願ってやみません。

結びに全国砂防協会静岡県支部のご発展と関係各位のご活躍を心からご祈念申し上げます。

＊平成の大合併は今回をもって終了とさせていただきます。
　掲載にあたりご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

静岡県の合併

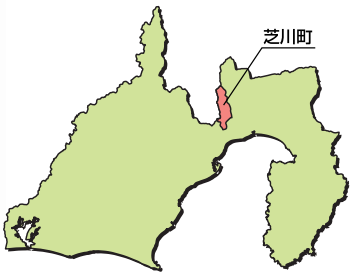
平成15年3月31日には74あった市町村が、合併特例法に基づく合併が終了した後の県下の市町村数は42市町（23市19町）となりました。



1 静岡市 関係市町村：静岡市、清水市 合併年月日：平成15年4月1日	9 伊豆の国市 関係市町村：伊豆長岡町、韮山町、大仁町 合併年月日：平成17年4月1日
2 伊豆市 関係市町村：修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町 合併年月日：平成16年4月1日	10 西伊豆町 関係市町村：西伊豆町、賀茂村 合併年月日：平成17年4月1日
3 御前崎市 関係市町村：御前崎町、浜岡町 合併年月日：平成16年4月1日	11 島田市 関係市町村：島田市、金谷町 合併年月日：平成17年5月5日
4 菊川市 関係市町村：小笠町、菊川町 合併年月日：平成17年1月17日	12 浜松市 関係市町村：浜松市、天竜市、浜北市、春野町、龍山村、佐久間町、水窪町、舞阪町、雄踏町、細江町、引佐町、三ヶ日町 合併年月日：平成17年7月1日
5 沼津市 関係市町村：沼津市、戸田村 合併年月日：平成17年4月1日	
6 磐田市 関係市町村：磐田市、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村 合併年月日：平成17年4月1日	13 川根本町 関係市町村：中川根町、本川根町 合併年月日：平成17年9月20日
7 掛川市 関係市町村：掛川市、大須賀町、大東町 合併年月日：平成17年4月1日	14 牧之原市 関係市町村：相良町、榛原町 合併年月日：平成17年10月11日
8 袋井市 関係市町村：袋井市、浅羽町 合併年月日：平成17年4月1日	15 静岡市 関係市町村：静岡市、蒲原町 合併年月日：平成18年3月31日

石碑をたずねて

〈vol.8〉

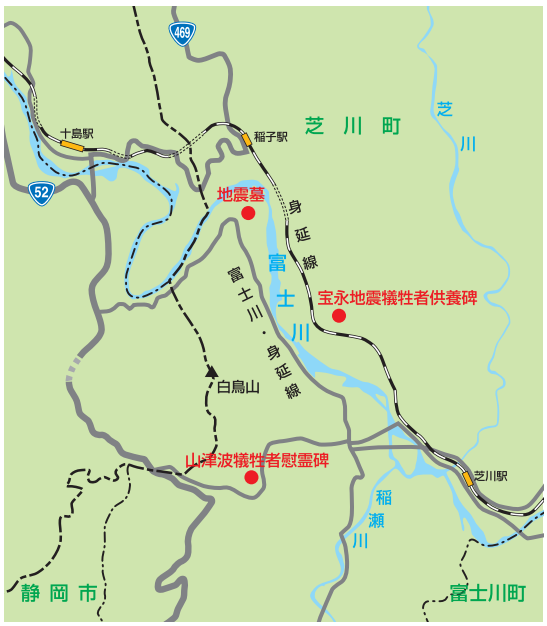


今回は、芝川町の富士川右岸にあり、山梨県富沢町との境にそびえる白鳥山が崩れたことによる土砂災害の慰霊碑の話です。このあたりはフォッサマグナ（静岡糸魚川構造線）に沿っており、豪雨と地震により大きな災害を受けています。

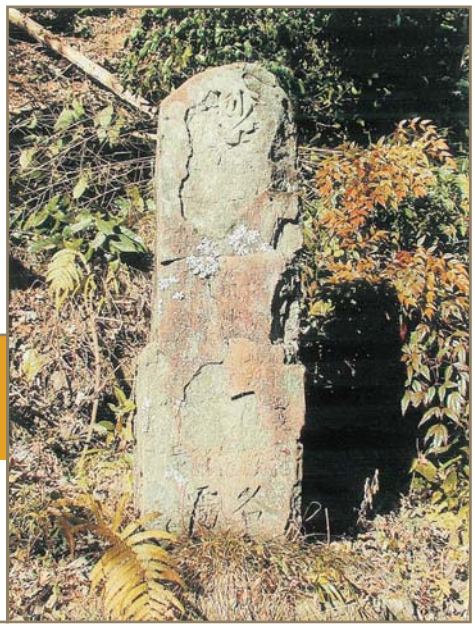
この災害に関連した石碑は三つあります。一つは内房・塩出地区に在り、宝永2年(1705年)6月16日の真夜中、豪雨により白鳥山の一角が崩れ、境川をせき止めて増水し、せきが切れると同地区の民家を押し流し36名が犠牲となったことを慰霊するものです。今で言う土石流が発生したのではないでしょうか。

二つ目は上長貫・小洞地区に在り、宝永4年(1707年)10月4日に発生した宝永大地震（東海、東南海、南海の地震が一度に発生）で白鳥山が崩れ、崩壊土砂が富士川を渡り対岸まで達し、同地区の22名が圧死者したことを慰霊するものです。

三つ目は内房・橋上地区に在り、3度の地震による白鳥山の崩壊で生き埋めとなった同地区の方々を慰霊するものです。3の地震とは、寛文13年(1673年)宝永大地震、及び安政東海地震です。いずれも白鳥山が崩れ、合計15名の方々が犠牲となりました。この慰霊碑は地元では地震墓と呼ばれているそうです。

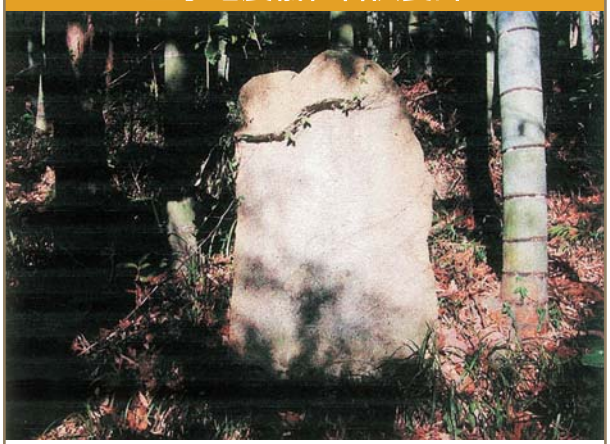


山津波犠牲者慰霊碑



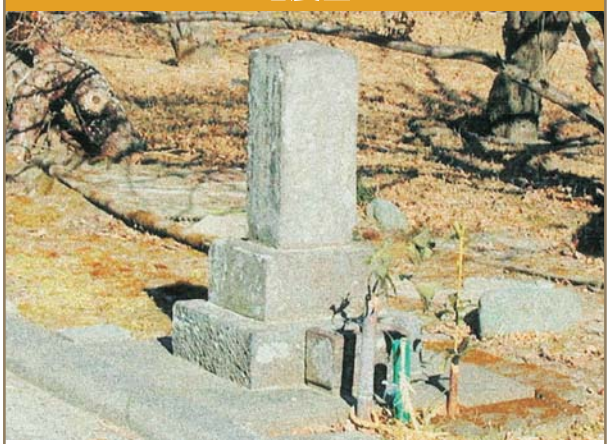
●場　所
芝川町内房 塩出
●建立日
不明

宝永地震犠牲者供養碑



●場　所……芝川町長貫 上長貫　●建立日……明治11年

地震墓



●場　所……芝川町内房 橋上　●建立日……不明